

[基本教育科目/人間の理解]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代の倫理	NLA11_011	選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇	講師控室	noboru.matsuzaki	Teams で質問等受付		
授業の目的・概要	<p>【目的】現代は歴史の大きな転換期にあり、前途不明感が強い。しかしそれは若者にとって大いなるチャンスでもある。このチャンスを生かすためには、事態をしっかりと把握し、自ら能動的に関与していかなければならない。 本科目は、学生が現代社会の応用倫理的諸問題に積極的に関心を持ち、自分なりにあれこれ調査考察発表議論できるようになることを目的とする。 【概要】人間論・倫理学の基本を踏まえたうえで、現代社会が抱えるさまざまな応用倫理的諸問題を把握考察していく。学部の特性に鑑み、特に生命倫理に注力する。 また終盤には、受講生がPower Pointを用いて発表したり、受講生同士でさまざまに議論したりする機会も設けてある、お楽しみに。 Teamsを用いた同時双方向型の遠隔授業となる。</p>				
学習上の助言	1. 国内外の応用倫理的な諸問題に広く関心を持ち、積極的に調べ感じ考えてみる。 2. 毎回の授業で用いるPower Pointを事前にupする予定なので、印刷可能な人はPrint outし、あらかじめ目を通しておくことを勧める。				
教科書	使用しない。				
参考書	授業中に適宜紹介する。				
① 人間論・倫理学について、基本的に理解できる。			関連卒業認定・学位授与方針		
② 現代における応用倫理的諸問題について、さまざまな角度から調査考察等できる。特に生命倫理について、深い洞察力を持つことができる。			HSU(1)(2)(3)(5)(6) NS(1)(4)(5)		
③ 生命倫理等に関し、他の受講生と協働しながら、Power Pointを用いて発表できる。			HSU(1)(4)(5)、NS(1)(3)		
④ 生命倫理等に関し、受講生同士でさまざまに議論できる。			HSU(1)(4)(5)、NS(1)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	人間を学ぶ1 (物質の展開、文化の過剰性)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
2	人間を学ぶ2 (人類の地歴的展開、現代)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
3	倫理を学ぶ1 (義務論、帰結主義)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
4	倫理を学ぶ2 (徳論、応用倫理学)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
5	現代経済倫理を学ぶ (企業倫理、地球倫理)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
6	現代国家倫理を学ぶ (政府倫理、世界倫理)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
7	現代意識倫理を学ぶ (科学倫理、存在倫理)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
8	生命倫理を学ぶ1 (全体像)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
9	生命倫理を学ぶ2 (産む・産まれる)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
10	生命倫理を学ぶ3 (生きる)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
11	生命倫理を学ぶ4 (死ぬ)。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
12	受講生による Group Power Point 発表。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
13	受講生による Group Debate。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
14	受講生による Total Discussion。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
15	質疑応答・まとめ。	同時双方向型遠隔授業	指定課題を作成し提出する。	4	
試	期末 Report。 (達成度評価・評価のポイントを参照のこと)				

[基本教育科目/人間の理解]

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	30	30	0	40	100	
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10	
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20	
問題を見発見・解決する力		0	10	0	0	10	20	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。	
	②	✓						
	③							
	④							
成果発表	①		受講生による Power Point 作成・発表・質疑応答、 および受講生による Debate、 ならびに受講生による Discussion、を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。				Comment する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。				Comment を付け、返送する。	
	②	✓						
	③							
	④							
備 考								
1. Teams を用いた同時双方向型遠隔授業となる。 Power Point 視聴・同時双方向行為等があるので、通信容量無制限の Wi-Fi 環境の確保を勧める。 2. 今後の事情によっては授業内容・シラバス等の変更もありうる。その場合には告知する。 3. 受講生による Power Point 発表は、受講人数により、回数変更等を行うことがある。 また終盤の3つの企画は、場合により変更がありうる。								